

時代 元号 西暦

出来事

800万年  
110万年前  
50万年前  
22万年前  
4万年前

前関東山地側が隆起し海だった高崎地域が浅瀬になった  
榛名山付近に火山活動があり、火砕流で高崎地域一帯が覆われた  
岩野谷(観音山)丘陵と高崎地域平野部がはっきりとしてきた  
マグマが噴出して榛名山の活発な活動が始まった  
榛名山の山頂部で大噴火があり、火口原湖の榛名湖となった  
榛名山が活動を再開する

市内の縄文時代(中期)の遺跡から出土した土器などの遺物に他地域のものが多く見られることから、関東エリアや日本海側と交流していたことがうかがえる  
日高遺跡に大規模な環濠集落を見ることが出来る  
3世紀後半に浅間山が大噴火し、軽石で日高遺跡が覆われた

東日本随一を誇る古墳群馬馬の中で、高崎市は最多の2741基が記録され、639基が現存。中国魏から卑弥呼に贈られたものと同じ型の三角縁神獣鏡が古墳時代前期の柴崎町蟹沢古墳から出土。古墳時代中期になると、墳丘全長17.15mの浅間山古墳など巨大な前方後円墳が数多く築造された。古墳からは中国や朝鮮半島との交流を示す副葬品が数多く出土している。古墳時代中期の三ツ寺1遺跡・北谷遺跡で大規模な首長居館が造営。保渡田古墳群中の前方後円墳3基はその首長の墓とみられている  
榛名山が2回にわたって大噴火した  
山上碑建立(放法光寺僧長利が亡き母供養のため建立)  
大宝律令が完成し全国支配の体制が整えられた



榛名湖



保渡田古墳群



正始元年銘三角縁同向式神獣鏡(国立博物館所蔵)

飛鳥～奈良時代

和銅4年 711頃  
神亀3年 726  
天平勝宝8年 756  
天平宝字3年 759  
天仁元年 1108

多胡碑建立(多胡郡が置かれ上野14郡となる)  
金井沢碑建立(三家氏に関わる氏族が先祖供養と一族繁栄のため建立)  
この頃上野国分寺が建立された七重塔は高さ約60mと推計され、1998年(平成10年)に高さ100mの高崎市役所現庁舎が完成するまで群馬県史上で最も高い建築物とされていた。  
浅間山大噴火  
八幡荘など有力な荘園が形成され、武士団が力を蓄える  
源頼朝が東国武士団に参陣  
新田義貞が八幡荘で越後、甲斐の武士団と合流、鎌倉へ上り幕府を滅ぼした



上野国分寺七重塔復元模型 金井沢碑 多胡碑 山上碑

和田氏により和田城が築城されたと伝えられている  
長野氏が榛名山南麓で勢力を拡大し、箕輪城を築く  
武田信玄の攻撃により箕輪城が落城  
織田信長家臣滝川一益が箕輪城に入城。本能寺の変後、戦国期の関東最大の合戦とされる神流川合戦で一益が北条氏邦に敗れる。箕輪城が北条氏の支配下になる  
井伊直政が徳川家康の命令により箕輪城に入城し、12万石を領す  
井伊直政が箕輪城より和田城に移り、和田を高崎と改め、町の区割りを行う  
3代将軍家光の弟・忠長が高崎城内で自刃。大信寺に墓所  
落合村と笛木村が伝馬役を命じられ新町宿となる  
田町に絹市場を設置



郭馬出西虎口門

室町～戦国～安土桃山時代

元禄3年 1690  
寛永10年 1633  
承安3年 1654  
慶長3年 1598  
天正18年 1590  
天正10年 1582  
永禄9年 1566  
永正年間 1504  
正長の頃 1394  
応永・ 1429

高崎市役所庁舎が高松町に新築移転  
高崎経済大学が開学  
市内初の工業団地「八幡工業団地」造成  
市制60周年、水道創設50周年、群馬音楽センターの落成記念式典  
高崎・前橋間のバイパスの開通  
高崎卸商業団地が完成  
第1回高崎ふるさと祭り開催(昭和60年に高崎まつりに改称)  
上越新幹線大宮・新潟間開通  
高浜クリーンセンター操業開始  
第1回高崎マーチングフェスティバル、高崎音楽祭開催  
シンフォニーロード開通。高崎シティギャラリーの開館  
ラジオ高崎開局。市内循環バスぐるりん運行開始。長野新幹線開業  
高崎市役所新庁舎開庁  
高崎市制施行100周年記念式典  
特別市に移行  
1月に高崎市、倉沢村、箕郷町、群馬町、新町が合併。10月に高崎市と榛名山町が合併。  
高崎市総合福祉センター開館  
6月に高崎市と吉井町が合併  
中核市に移行。高崎市総合保健センター・中央図書館開館  
高崎玉村スマートIC開業。道の駅「くらぶち小栗の里」開館。上信電鉄佐野のわたし駅開業  
高崎アリーナ開館。子育てなんでもセンター開館。上野三碑がユネスコ「世界の記憶」に登録  
くらぶち英語村が開村。倉沢サッカー場開場  
くらぶちことば天文台開館  
高崎市ソフトボール場が開場。高崎芸術劇場開館

昭和時代、大正時代、明治時代、江戸時代の年表

大河内輝貞が高崎藩主となる  
浅間山の大噴火。大飢饉が起こる  
岩鼻陣屋(代官所)を設置  
皇女和宮、高崎城下を下向  
御伝馬事件が起こる  
高崎藩が下仁田戦争で水戸浪士の天狗党に敗れる  
小栗上野介が水沼河原(現在の倉沢町)で斬首される  
版籍奉還により高崎藩主大河内輝貞が藩知事となる。五万石騒動が起こる  
廃藩置県で高崎藩は高崎県となる。第1次群馬県が成立し県庁が高崎の旧城内に置かれる  
旧高崎城内が兵部省の管轄となる。東京高崎間に郵便馬車会社が開業  
第2次群馬県が成立。県庁が高崎に置かれ安国寺が庁舎となる  
新町に官宮系紡績所開業  
県庁が前橋に決定。高崎住民が県庁の高崎移転を嘆願  
陸軍歩兵第十五連隊の創設。上野・高崎間の鉄道が開通  
町制施行により高崎町となる。宮元町に役場を置く。初代町長に矢島八郎就任  
高崎商業会議所設立(高崎商工会議所の前身)  
群馬県尋常中学校群馬分校(県立高崎高校の前身)が開校  
上野鉄道(現上信電鉄)の高崎・下仁田間が全通  
群馬県高等女学校(県立高崎女子高校の前身)開校  
高崎市制施行。宮元町に庁舎を置く。初代市長に矢島八郎就任。戸数5924戸、人口3万2467人  
高崎市内初の映画館「電気館」が開館  
関東大震災。高崎まで避難し救護の対象となった延人数は8万2千400人に及んだ  
第1回えびす講廉売市が開かれる  
城南野球場が球場開き。白衣大観音建立  
高崎が空襲を受ける。アジア太平洋戦争が終わる。  
高崎市民オーケストラ(群馬交響楽団の前身)が発足  
新日本高崎ことも博覧会を観音山で開催



2代目市役所 小栗上野介忠順の墓



白衣大観音建立

平成時代、昭和時代

昭和29年 1954  
昭和32年 1957  
昭和34年 1959  
昭和36年 1961  
昭和41年 1966  
昭和42年 1967  
昭和50年 1975  
昭和57年 1982  
昭和63年 1988  
平成2年 1990  
平成6年 1994  
平成8年 1996  
平成10年 1998  
平成12年 2000  
平成13年 2001  
平成18年 2006  
平成21年 2009  
平成23年 2011  
平成26年 2014  
平成29年 2017  
平成30年 2018  
平成31年 2019  
令和元年 2019

高崎芸術劇場開館  
高崎市制施行100周年記念式典  
上越新幹線大宮・新潟間開通  
高崎前橋間のバイパスが完成



高崎芸術劇場開館 高崎市制施行100周年記念式典 上越新幹線大宮・新潟間開通 高崎前橋間のバイパスが完成